



高圧手動弁

ボイラー間の主蒸気連絡弁の省力化

納入先：中部地区工場 UH-004

変更前の機構/構造説明	変更後の機構/構造説明
<p>高圧弁にも関わらず手動式であったため弁開閉に労力・時間を要していた。(対象弁は5弁) また、弁位置も操作に不向きな場所にあったため作業環境が悪かった。</p> 	<p>各弁位置が近在にあるため駆動本体が1基で持ちまわれCost-MeritがあることからUH方式に決定した。化学会社であることから駆動方式はエア駆動とした。</p> 

(1) 装置・機器の概要説明

- ①可搬式エア駆動本体 (UKP-2) 1台
- ②フレキシブルシャフト F-18x4mLx1本
- ③アタッチメント AM-40x5台
- ④AMアダプターx5個
- ⑤廻り止め金物(現地あわせ)

(2) 変更前の問題点

高圧の手動弁のため開閉に労力・時間を要していた。
また、弁位置も操作に不向きな場所にあったため作業環境が悪かった。
ベストルクを検討したが5弁のTotal費用が高額のため断念していた。

(3) 変更後の利点

UHを利用することで省力化と時間短縮が計れた。
UHの利点が理解されたので同工場内既設UHの更新や点検整備に関心を持ってもらえた。